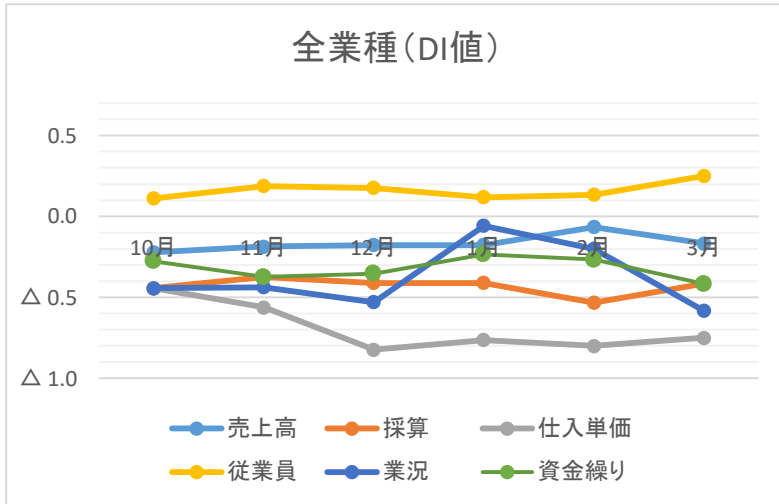


白河商工会議所LOBO調査結果(令和4年3月分)

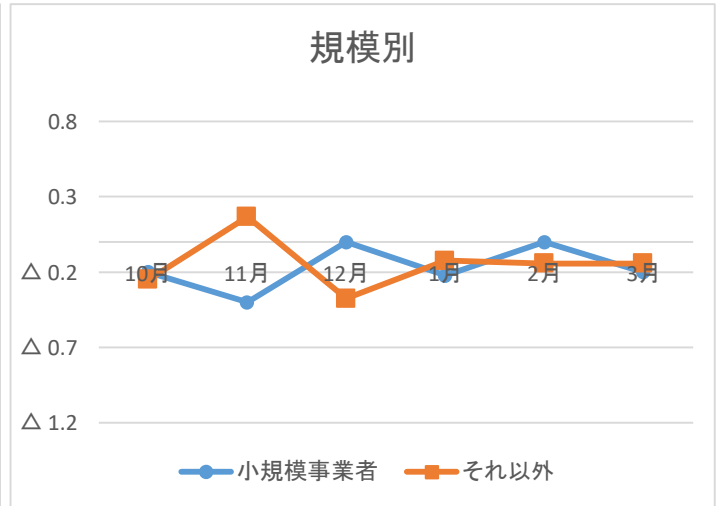
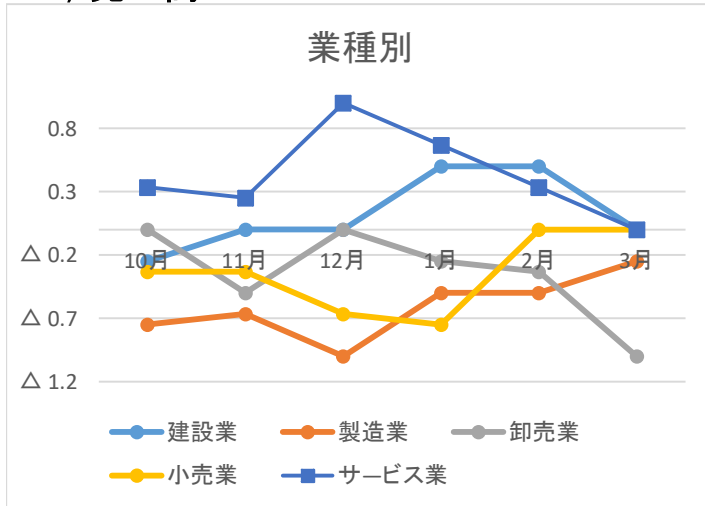
実施期間: 令和4.3. 10~3.23 回答事業所: 12事業所

1, 全業種DI値



3月の全業種DI値を見ると、採算が+0.1ポイント、従業員が+0.2ポイント上昇した。
一方では、売上高・資金繰りが-0.1ポイント、業況が-0.4ポイント下降した。
仕入単価は横ばいとなった。

2, 売上高

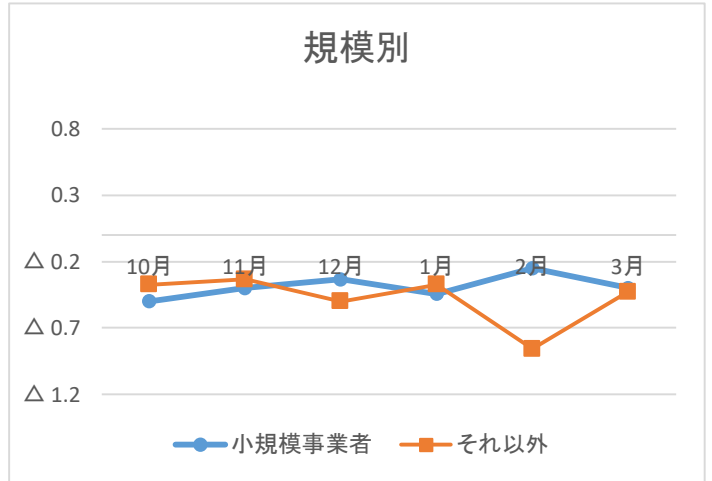
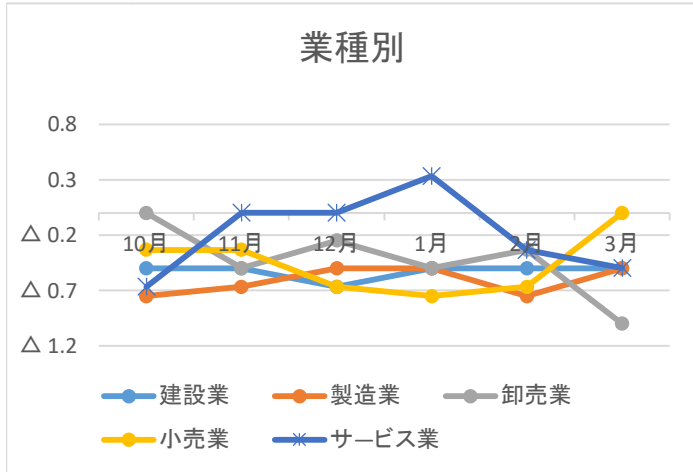


売上DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2
建設	△ 0.3	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0
製造	△ 0.8	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3
卸売	0.0	△ 0.5	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.0
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	0.0	0.0
サービス	0.3	0.3	1.0	0.7	0.3	0.0
小規模	△ 0.2	△ 0.4	0.0	△ 0.2	0.0	△ 0.2
それ以外	△ 0.3	0.2	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1

全産業の売上DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見てみると、製造業が+0.2ポイント上昇した。
一方で、建設業が-0.5ポイント、卸売業が-0.7ポイント、サービス業が-0.3ポイント下降した。小売業は横ばいとなった。
規模別に見ると小規模は-0.2ポイント下降、それ以外は横ばいという結果となった。

3, 採算

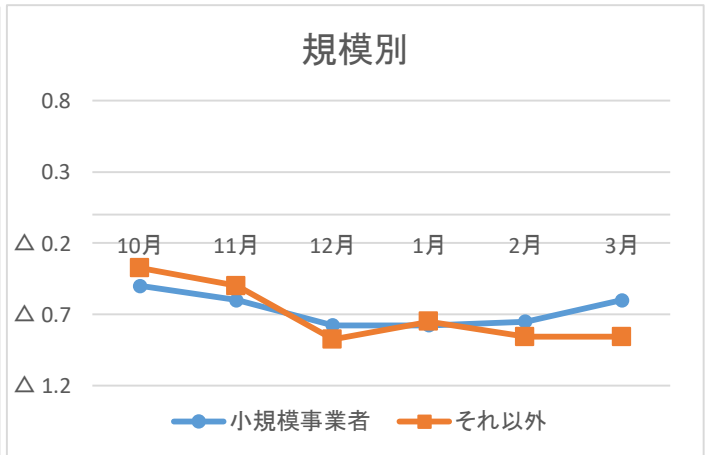
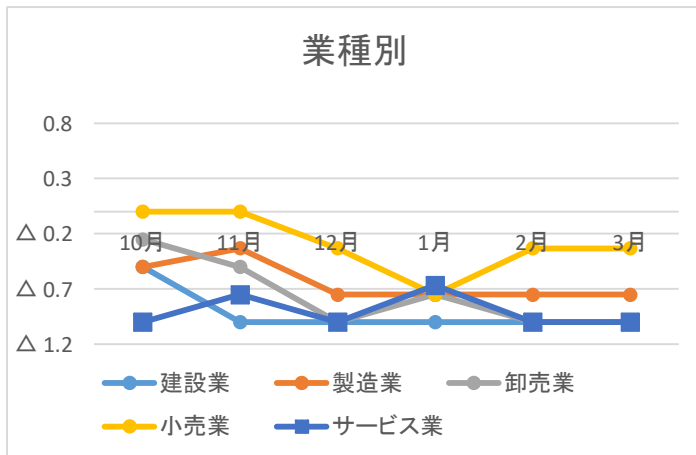


採算DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.4
建設	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
製造	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5
卸売	0.0	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	0.0
サービス	△ 0.7	0.0	0.0	0.3	△ 0.3	△ 0.5
小規模	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4
それ以外	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.9	△ 0.4

全産業の採算DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見てみると、製造業は+0.3ポイント、小売業は+0.7ポイント上昇した。
一方で卸売業は-0.7ポイント、サービス業は-0.2ポイント下降した。建設業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は-0.1ポイント下降、それ以外は+0.5ポイント上昇した。

4, 仕入単価

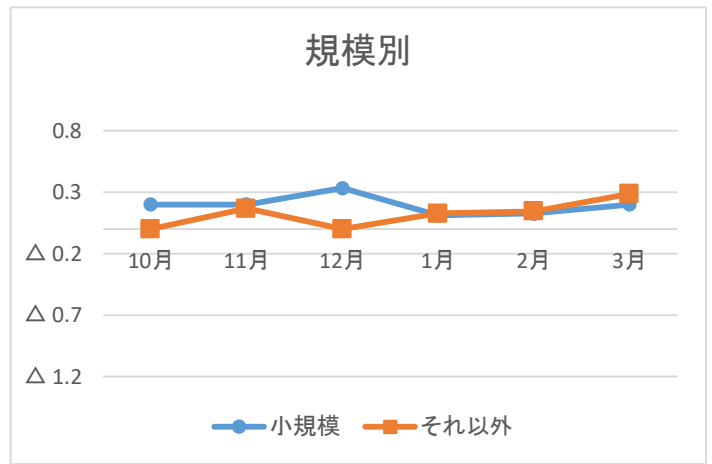
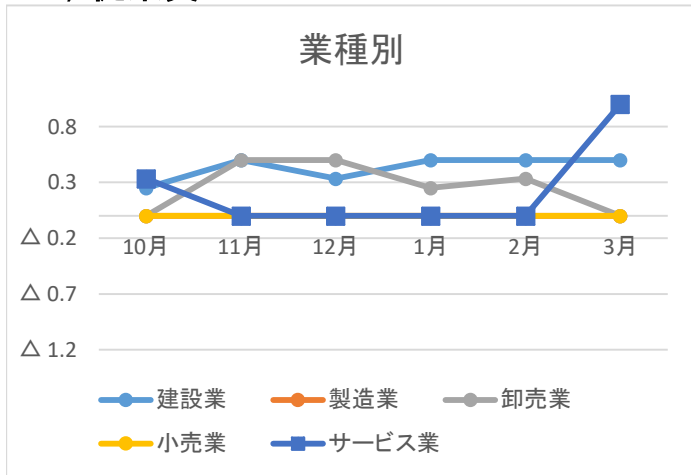


仕入単価DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
建設	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
製造	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
卸売	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0
小売	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.3
サービス	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.6
それ以外	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.9

仕入単価の全産業DIは前月から横ばいとなった。
業種別に見ると、全業種横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は+0.2ポイント上昇となった。それ以外は横ばいという結果となった。

5, 従業員

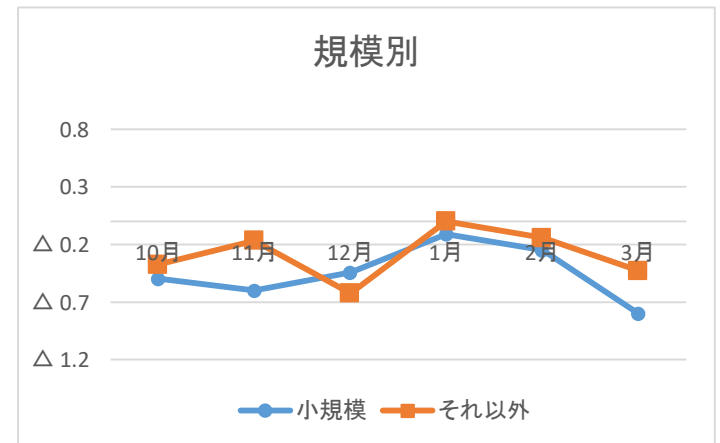
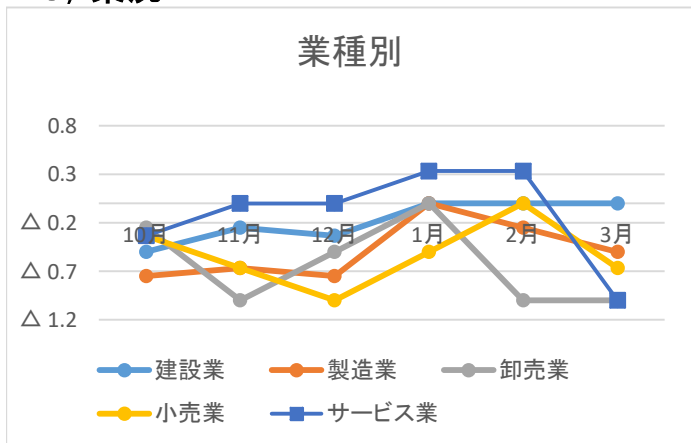


従業員DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3
建設	0.3	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売	0.0	0.5	0.5	0.3	0.3	0.0
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
小規模	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2
それ以外	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3

従業員の全産業DIは前月から+0.2ポイント上昇した。
業種別にみると、サービス業が+1.0ポイント上昇とした。
一方で、卸売業は-0.3ポイント下降、建設業・製造業・小売業は横ばいとなった。
規模別にみると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は+0.2ポイント上昇という結果となった。

6, 業況

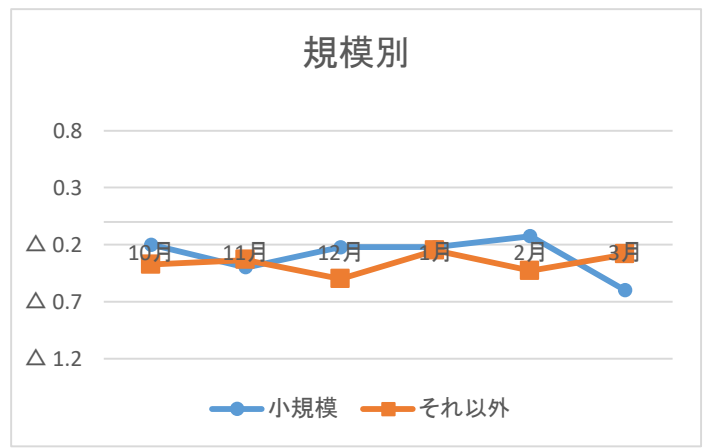
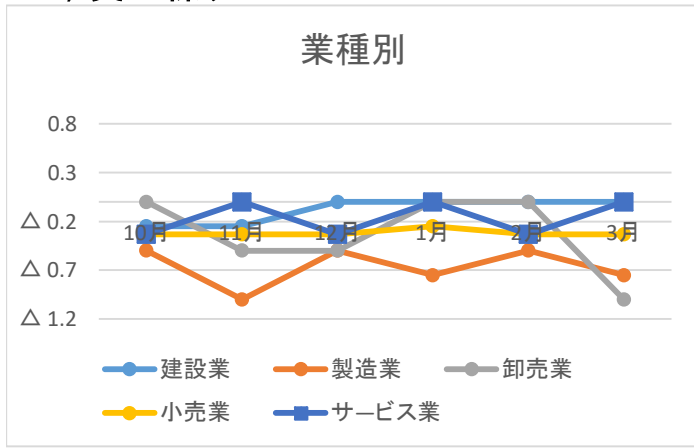


業況DIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.6
建設	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.8	△ 0.7	△ 0.8	0.0	△ 0.3	△ 0.5
卸売	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.5	0.0	△ 1.0	△ 1.0
小売	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.5	0.0	△ 0.7
サービス	△ 0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	△ 1.0
小規模	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.8
それ以外	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.6	0.0	△ 0.1	△ 0.4

業況の全産業DIは前月から-0.4ポイント下降している。
業種別に見ると、製造業が-0.2ポイント、小売業が-0.7ポイント、サービス業が-1.3ポイント下降した。
建設業・卸売業は横ばいとなった。
規模別で見ると、小規模は-0.5ポイント、それ以外は-0.3ポイント下降という結果となった。

7, 資金繰り



資金繰りDIの推移

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全産業	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4
建設	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.8
卸売	0.0	△ 0.5	△ 0.5	0.0	0.0	△ 1.0
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
サービス	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0
小規模	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.6
それ以外	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3

資金繰りの全産業合計DIは前月から-0.1ポイント下降した。
 業種別に見るとサービス業は+0.3ポイント上昇した。
 一方で製造業は-0.3ポイント、卸売業は-1.0ポイント下降した。建設業・小売業は横ばいとなった。
 規模別に見ると、小規模は-0.5ポイント下降、それ以外は+0.1ポイント上昇した。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①深刻なマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)		1				1
②大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)		2	1	1		4
③ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)				1	2	3
④現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	2	1		1		4
⑤影響はない						0
⑥分からない						0
⑦回答不能						0

2.付帯調査【ロシア軍のウクライナ侵攻による影響】

2-1 ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、貴社ビジネスへの影響(売上・仕入の減少、調達コストの上昇等)について

	建	製	卸	小	サ	合計
①現在影響がある	1	1			1	3
②今のところは影響はないが、先行きに懸念がある。		2	1	2	1	6
③影響は全くない	1					1
④回答不能		1		1		2

2-2. 具体的な影響(懸念を含む)について、選択肢からお選びください。※質問2-1で選択肢1~2と回答した方へ

	建	製	卸	小	サ	合計
①国内販売数量の減少				1		1
②海外販売数量の減少						0
③エネルギー資源(原油、天然ガス等)価格高騰による電力・燃料コストの上昇	1	1	1	2	2	7
④エネルギー資源を除く仕入れコストの上昇	1	2			2	5
⑤コスト増に伴う価格転嫁が進まない		2	1	2	1	6
⑥為替の変動						0
⑦調達の困難化に伴う仕入先の変更・見直し		1		1		2
⑧国内設備投資計画の修正						0
⑨海外設備投資計画の修正						0
⑩具体性はないが、漠然とした不安						0
⑪その他		1				1
⑫回答不能						0

3.付帯調査【新型コロナウイルスの影響の長期化に伴う、賃上げの動向について】

3-1. 貴社の正社員における2021年度の賃上げの実績について

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため、賃上げを実施した	1			1		2
②業績の改善がみられないが、賃上げを実施した	1		1	1		3
③賃金は同水準を維持した		3			2	5
④賃金は引き下げた						0
⑤回答不能		1		1		2

3-2. 正社員の賃上げの内容について ※質問3-1で選択肢1~2と回答した方へ ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した				2		2
②ベースアップを実施した	1		1	1		3
③手当の新設・増額	1					1
④一時金(賞与)を増額した						0
⑤回答不能						0

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響についての付帯調査では、「影響がある」と答えた事業所は66.6%だった。現在は影響がない事業所も、今後マイナスの影響がでる可能性を懸念している。

ロシア軍のウクライナ侵攻による影響についての付帯調査では、「今のところは影響はないが、先行きに懸念がある」と回答した事業所が最も多かった。

また、具体的な影響についての設問では、上位2つに「エネルギー資源(原油、天然ガス等)価格高騰による電力・燃料コストの上昇」が7件、「コスト増に伴う価格転嫁が進まない」が6件の回答があった。原材料価格や燃料費等の各コストが上昇しているにもかかわらず、同業他社が価格転嫁をしていないため、自社も進められないという意見もあった。

新型コロナウイルスの影響の長期化に伴う、賃上げの動向についての付帯調査では、正社員の賃上げを実施した事業所は41.6%だった。賃上げの内容については、「ベースアップを実施した」事業所が最も多く、次に「定期昇給を実施した」と続いた。